

夏休み、 「そっだ実験しよう！」

中学生を対象とした「理系」の実験を知ることができる実験講座です。
大学生が使用する実験器具や装置を使用して、理科実験をします。
実験で良く使用する顕微鏡を使った生物試料の観察、生物分野では消化酵素を使った実験、
環境工学分野では電気の実験の3種類を行います。
夏休みの「自由研究」を始めるきっかけにしてみたいはいかがでしょうか？

7月25日(木)10:00～12:00 「顕微鏡で観てみよう」

7月25日(木)13:00～15:00 「消化酵素を使ってみよう」

7月26日(金)10:00～12:00 「電気について考えてみよう」

【会場】県立広島大学庄原キャンパス 5111実験室

※各回の開始30分前から受付を開始します。

※ひとつの講座から参加可能です！

お申込方法

- ①本学ホームページ(下記QRコードまたはURL)から「申込フォーム」に入力してください。または裏面の「参加申込書」に必要事項を記入して、FAXでお申込みください。
- ②お申込みいただいた方には、後日、受講案内を送付します。



URL:<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/s-kouza20240725.html>

申込締切：7月12日(金)

対 象：中学生とその保護者、
中学校教員

定 員：各講座20名

受講料：無料

申込先

〒727-0023

庄原市七塚町5562番地

県立広島大学 庄原地域連携センター

電話：(0824)74-1000 (9:00～17:00)

FAX：(0824)74-0191

Mail：gakuju@pu-hiroshima.ac.jp

講座内容

第1実験 顕微鏡で観てみよう 准教授 吉野 智之



食品や細胞などを光学顕微鏡や電子顕微鏡を使って観察します。顕微鏡の種類や原理を解説して、試料調整から観察まで行います。身近にあるでんぷんなどの料理の原材料、植物細胞や動物細胞、微生物などを観察します。

第2実験 消化酵素を使ってみよう 准教授 山本 幸弘



消化酵素には、糖質を加水分解するアミラーゼやタンパク質を加水分解するトリプシンなど、様々なものが知られています。本テーマでは、脂質の加水分解酵素であるリパーゼを使って、油脂が加水分解される様子を、薄層クロマトグラフィーという分析手法によって観察します。

第3実験 電気について考えてみよう 教授 西村 和之



電気は、生活の中で様々な用途に利用されていますが、普通は、大きな発電所で燃料などのエネルギー資源を変換した電気を家庭で利用しています。ここでは、身近なエネルギーを電池に変換する様子を観察したり、簡単な回路を制作して電気を“より有効に利用する”ことを体験してもらいます。

参加申込書

氏名 (ふりがな)

学校名

学年

参加実験

すべて

第1実験

第2実験

第3実験

保護者氏名 (ふりがな)

住所

〒

電話

() —

日中の連絡先：

E-mail